



鹿屋大隅の未来へ

東九州自動車道&大隅縦貫道開通
(曾於弥五郎IC～笠之原IC)

歴史的な一日

平成26年12月21日、東九州自動車道「鹿屋串良～曾於弥五郎(17.7キロ)」が開通。同時に、大隅縦貫道「鹿屋串良～笠之原(6.1キロ)」も開通し、鹿屋まで高速道路が結ばれた歴史的な一日となりました。

昭和41年5月に東九州自動車道建設促進協議会が発足してから半世紀。

長年にわたり、高速道路の早期開通を願い、努力してきた関係者や鹿屋市民の思いが、ようやく実現に結びつきました。

開通を盛大に祝う

12月21日、串良平和アリーナにおいて、国会議員や県知事、沿線市町の首長など約450人が集まり開通式典が開催されました。その後、鹿屋串良ジャンクション(JCT)に移動し、テープカットや通り初めで、開通を盛大に祝いました。15時からは一般開放が行われ、車両が通行できるようになりました。

「陸の孤島」の解消

鹿屋市街地から鹿兒島空港までの所要時間は100分から74分となり、約26分短縮されました。これにより、本市の環境も大きく変化することが予想されます。遠方への往来が楽になり、人・モノの交流が盛んになるといったメリットだけでなく、産業やサービスのあり方など、これまで「陸の孤島」であることによって変わらなかったものが、変わってきます。

新しい時代の幕開け

私たちは、このような環境の変化に対応し、高速道路が開通して本場に「良かった」と思える鹿屋をこれから築き上げていくことが大切です。

東九州自動車道開通までのあゆみ

- 平成元年1月31日 志布志町～隼人町 基本計画区間に決定
- 平成8年12月27日 志布志町～末吉町 整備計画区間に決定
- 平成10年6月13日 鹿屋串良～末吉間杭打式
- 平成12年3月4日 国分IC～隼人東IC供用開始
- 平成14年3月2日 末吉財部IC～国分IC供用開始
- 平成15年12月25日 志布志町～末吉町 新直轄方式の整備へ移行
- 平成22年3月14日 曾於弥五郎IC～末吉財部IC 供用開始
- 平成26年12月21日 鹿屋串良IC～曾於弥五郎IC 供用開始

